

— 訓子府町の主な歴史年表 —

明治政府誕生以前	
安政5年 1858年	○北海道、北見の命名者、松浦武四郎第6回蝦夷地踏査を行い、常呂川などを上り、現在の訓子府町日出（オロムシ川河口）付近で1泊
開拓使時代（明治2年～明治15年）	
<p>明治元年に明治政府が成立、明治2年8月に「蝦夷」が「北海道」と改められ、同時に北海道を統括する開拓使庁が設置され、道内を11国86郡に分けた。</p> <p>現在の宗谷から斜里までのオホーツク海沿岸は「北見国」とされ、8郡に分けられた。訓子府は、常呂郡7村の中の野付牛の範囲内に属していた。</p> <p>明治5年に開拓使庁は、北海道を五つの区域に分割、支庁を置き北見国東部4郡は根室支庁の管轄下に。</p>	
和 曆 西 曆	訓子府町の出来事
明治2年 1869年	○訓子府（地域）は北見国常呂郡となる
明治5年 1872年	○北見国東部4郡（紋別・常呂・網走・斜里）の村名定まる。常呂郡はトコロ（明治8年に漢字表記に改める＝常呂）・チイウシ（同＝小牛）・トウフツ（同＝鑑沸）・フトチヤンナイ（同＝太茶苗）・ノッケウシ（同＝野付牛）・モイコツネイ（同＝生顔常）・テシオマナイ（同＝手師学）の7村

三県一局時代 (明治15年～明治18年)

明治15年2月に明治政府は開拓使を廃止、道内を札幌、函館、根室の3県とし、翌16年に農商務省に北海道事業管理局を設置。北見国は根室県に属し、同年9月には常呂郡一円に常呂外六カ村戸長役場を設置。

和 曆 西 曆	訓子府町の出来事
明治15年 1882年	○原鐵次郎、馬を引き十勝から利別川を上り、ケトナイ沢に出て、常呂川を下る。開拓前に本町に足跡をしるした和人の一人
明治16年 1883年	○常呂郡一円常呂外六カ村戸長役場を常呂村に開く。本町地区は単にクネップと称す

北海道庁時代 (明治19年～明治29年)

明治19年1月に北海道庁が設置され、札幌を本庁とし函館、根室両県を支庁に改めた。

和 曆 西 曆	訓子府町の出来事
明治19年 1886年	○東京の杉村某(名は不明)、狩猟のためアイヌを伴いオロムシに入る。アイヌ民族の平村エレコーク、ヌシャアングルウスら一時住み着く(本町居住者の始め)
明治22年 1889年	○クネップ原野を植民地に選定
明治29年 1896年	○土佐の人 澤本楠弥、前田駒次クネップ原野を視察 ○本町開拓の祖大谷清虎、大工を引率して北光社移民小屋を本町地区オロムシに13棟建設

野付牛村時代（明治30年～大正3年）

明治30年野付牛村と生顔常村（現在の北見市留辺蘂町、置戸町）で野付牛外一カ村戸長役場を開庁。明治42年4月1日に野付牛外一カ村戸長役場の区域に2級町村制が敷かれ、野付牛村となる。

和 曆 西 曆	訓子府町の出来事
明治30年 1897年	○北光社移民団のうち大谷清虎、馬場正吉ら13戸本町地区オロムシに入植 (和人入植の始め、本町開基)
明治31年 1898年	○北光社第2次移民のうち2戸オロムシに入植 ○常呂川南岸道路（現道道置戸訓子府北見線）上常呂から西19号まで開削 ○豪雨で常呂川など大氾濫
明治33年 1900年	○上常呂に訓子府尋常小学校開校 ○野付牛村農会誕生
明治34年 1901年	○クンネツ原野西19号から西の植民区画を測量
明治35年 1902年	○穂波、清住の開拓始まる ○薄荷の栽培始まる
明治37年 1904年	○実郷、西富、福野の開拓始まる ○山崎虎之助オロムシで水力により精穀製粉を行う（工業の始まり）
明治38年 1905年	○富山仁作、穂波で水力によりでんぷん製造を行う
明治39年 1906年	○訓子府駅通を開設 ○実郷、穂波で米を試作

<p>明治 40 年 1907年</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○常呂川北岸道路（現道道北見置戸線）西 23 号まで開通 ○加藤衛、西 23 号に雑貨店を開く（商業の始まり） ○西富渡邊牧場に肉牛導入 ○斎藤諦順西富 34 号に草庵つくり仏教を布教
<p>明治 41 年 1908年</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○訓子府教育所、西 24 号に開校 ○北岸道路置戸まで開通 ○西又吉信州カラマツを西富に植える（植林の始まり）
<p>明治 42 年 1909年</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○西訓丸森組、訓子府小山田組、オロムシ新野組飯場でき鉄道工事進める ○相内一ケトナイ拓殖道路を開く ○妻恋橋完成 ○開盛の開拓始まる
<p>明治 43 年 1910年</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○渡邊牧場にホルスタイン乳牛導入 ○米地伊之助水力で製材事業を営む
<p>明治 44 年 1911年</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○訓子府駅開業 ○藤森千三郎鉄道運送業を営む ○訓子府神社神殿造営 ○常盤に三井、舞鶴牧場設定
<p>明治 45 年 大正元年 (大正 1 年) 1912年</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○訓子府郵便局設置 ○草野製軸訓子府工場創業 ○訓子府青年会誕生 ○最勝寺西 27 号に説教所を建てる
<p>大正 2 年 1913年</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○訓子府巡査駐在所設置 ○草野製軸工場に私設消防組を編成 ○北栄、駒里、弥生、高園の開拓始まる

	<ul style="list-style-type: none"> ○前田、真木、丸玉牧場などは農場に転換、越智農場などの開拓始まる ○芝居小屋（訓子府座の前身）開く
<p>大正3年 1914年</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○訓子府教育所は訓子府尋常小学校に ○常照寺駅前に説教所を開く ○分村問題発生、置戸と役場位置争う
置戸村時代（大正4年～大正8年）	
<p>大正4年4月1日に野付牛村に1級町村制が敷かれ、同時に2級村武華村（現北見市留辺蘂町）と置戸村（現置戸町、訓子府町）が分村独立した。</p>	
<p>和 曆 西 曆</p>	訓子府町の出来事
<p>大正4年 1915年</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○野付牛村から置戸村分村、訓子府は置戸村に所属 ○置戸村会議員に本町地区から6人当選 ○訓子府小学校、市街に仮校舎3教室分建設 ○北訓教授場開校 ○私設訓子府消防組編成、火災予防組合設立 ○隔離病舎を鉄道北の風防林内に設置 ○守屋真澄、獣医を開業
<p>大正5年 1916年</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○居武士教授場開校 ○公設訓子府消防組設置 ○草野工場は、今村製軸工場と改称（後に大東燐寸に）
<p>大正6年 1917年</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○訓子府小学校に高等科設置 ○訓子府商工組合設立 ○弥生に日出信用購買組合誕生

<p>大正7年 1918年</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○北訓教授場は北訓小学校に昇格 ○上中ノ沢特別教授場開校 ○馬政局（現農林水産省畜産部門の前身）十勝種馬牧場北見分厩（きゅう）開場し、防風林の植樹（耕地防風林の始め） ○訓子府市街に火力発電所設置、市街点灯 ○牛越奨、鬼海邦磨訓子府市街に医院を開業 ○小澤鐵太郎、貸し自転車店を開業（自転車普及時代に入る） ○薬草の栽培始まる ○男しゃく芋の種子入る（種子用バレイシヨの始まり）
<p>大正8年 1919年</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○大水害で妻恋橋、大谷橋など流失 ○日本キリスト教会訓子府講義所開設 ○タマネギ栽培始まる ○本光寺本堂を建立



クンネップ原野西19号
以西の新植民区画測量に
向かう北海道の関係者
(明治34年)

明治42年に完成した
「妻恋橋」の渡橋式
(現叶橋・西金和さん
提供)



大正8年の水害で冠水した
市街地

訓子府村時代（大正 9 年～昭和 21 年）

大正 9 年 6 月 1 日付で訓子府は置戸村から分村独立し、2 級町村制施行の訓子府村となる。

和 曆 西 曆	訓子府町の出来事
大正 9 年 1 9 2 0 年	<ul style="list-style-type: none"> ○置戸村より分村、訓子府村誕生 ○村会議員選挙（定数 12、任期 2 年） ○第 1 回村会を本光寺本堂で開く ○南訓教授場開校 ○村農会設立 ○北見畜産組合訓子府支部設立 ○西製軸工場解散し平野木工場となる ○訓子府駅通閉業
大正 10 年 1 9 2 1 年	<ul style="list-style-type: none"> ○訓子府村連合青年団結成 ○ビートの耕作始まる ○訓子府川、常呂川沿岸の増田盛んに
大正 11 年 1 9 2 2 年	<ul style="list-style-type: none"> ○野付牛置戸間に電話開通 ○訓子府川北、川南土功組合設立 ○訓子府川水利組合設立 ○竹村喜太郎砂利採取事業始める ○太田伊三郎みそ醤油醸造工場を創業 ○隆光寺説教所を建てる ○常呂川氾濫し、大谷橋など流失、居武士教授場は濁流に孤立
大正 12 年 1 9 2 3 年	<ul style="list-style-type: none"> ○大谷橋を居武士橋と改称 ○柳橋勇吉訓子府医院を開業
大正 13 年 1 9 2 4 年	<ul style="list-style-type: none"> ○北海道庁種畜場北見分場開設 ○訓子府郵便局電話交換業務を開始

	○大東燐寸製軸工場閉鎖で市街寂れる
大正 14 年 1925 年	○南訓教授場、南訓小学校に昇格 ○酪農組合設立 ○道路保護組合設立
大正 15 年 昭和元年 (昭和 1 年) 1926 年	○役場庁舎新築 ○訓子府神社拜殿造営
昭和 2 年 1927 年	○居武士教授場、居武士小学校に昇格 ○部落部長を区長制に改める ○森林防火組合設立 ○自作農創設事業始まる ○訓子府運送合資会社設立 (鉄道運送業者の合併)
昭和 3 年 1928 年	○村連合女子青年団結成 ○普選法による村会議員選挙 (定数 18 任期 4 年となる)
昭和 4 年 1929 年	○上中ノ沢教授場、中ノ沢小学校に昇格
昭和 5 年 1930 年	○駒里の奥に共同放牧場設備 ○訓子府市街大火 ○村産業組合設立 ○訓子府、西訓、南訓墓地認可
昭和 6 年 1931 年	○酪農組合を畜牛組合に改組 ○北見中央酪農販売組合訓子府集乳所開設 ○中ノ沢墓地認可
昭和 7 年 1932 年	○野付牛警察署西訓子府巡查駐在所開設 ○中ノ沢青年訓練所設置

	<ul style="list-style-type: none"> ○各墓地に火葬場を造る ○常照寺本堂を建立
<p>昭和8年 1933年</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○村立訓子府実業補習学校開校 ○居武士小校庭に開拓の祖、大谷、馬場翁顕頌碑を建立（旌頌碑）
<p>昭和9年 1934年</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○妻恋橋架け替え完成、叶橋と改称 ○忠魂碑完成 ○市街に火の見望楼サイレン設備
<p>昭和10年 1935年</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○青年訓練所と実業補習学校を農業青年学校に改組 ○野付牛森林事務所訓子府分区員駐在所開設 ○訓子府神社幣殿造営無格社に ○日本キリスト教会訓子府講義所閉鎖
<p>昭和11年 1936年</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○水稻温床苗代法始まる ○水害で居武士橋、昭和橋流失
<p>昭和12年 1937年</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○福岡木工場創業 ○第1回招魂祭を執行 ○村防護団設立
<p>昭和13年 1938年</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○訓子府村農地委員会設置 ○劇場喜美館開く ○最勝寺、本堂を建立 ○村会議員4人の補欠選挙
<p>昭和14年 1939年</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○消防組と防護団を合併して訓子府警防団設立
<p>昭和15年 1940年</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○警防団本部を建設 ○訓子府商業組合設立 ○訓子府馬産振興会設立

<p>昭和 16 年 1 9 4 1 年</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○小学校は国民学校と改称 ○村内 4 青年学校を訓子府青年学校に統合 ○字名改正 ○町内会、部落会の発足 ○訓子府林産物検査員駐在所開設 ○訓子府神社村社に認可
<p>昭和 17 年 1 9 4 2 年</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○村森林組合設立 ○村青少年団結成 ○訓子府神社本殿造営 ○北見通運訓子府営業所開店
<p>昭和 18 年 1 9 4 3 年</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○食糧営団訓子府出張所開設 ○村国民健康保険組合設立 ○村農会解消
<p>昭和 19 年 1 9 4 4 年</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○村農業会設立 ○牛の人工授精所開設 ○北見通運営業所は日通北見支店訓子府営業所となる
<p>昭和 20 年 1 9 4 5 年</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○川北、川南土功組合を合併し訓子府土功組合設立 ○太平木材株式会社創立
<p>昭和 21 年 1 9 4 6 年</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○北見警察署訓子府巡查部長派出所設置 ○方面委員を民生委員に改組 ○共同募金委員会発足 ○選挙管理委員会設置 ○農地委員選挙 ○村遺族会設立し、慰霊堂を建設 ○村青年団結成 ○訓子府青年文化連盟誕生

- 太田医院、黒田歯科医院の開業で医療事情良くなる
- 農村電化事業始まる
- 北見石灰工業会社、大谷の石灰生産
- 仁木産業株式会社など食品工業相次ぎ創業
- 日出臨時乗降場の設置認可
- 野島村長公職追放により退職



昭和6年当時の村会議員

新憲法、地方自治法施行後①（昭和 22 年～昭和 39 年）

昭和 26 年に町制施行され訓子府町となる

和 暦 西 暦	訓子府町の出来事
昭和 22 年 1947 年	<ul style="list-style-type: none"> ○村長公選 初代村長谷本泰三郎当選 ○第 1 回村議会議員選挙（定数 22、任期 4 年） ○国民学校を小学校と改称 ○訓子府中学校開校 ○訓子府小学校の美園・緑丘分校開校 ○村青年団を連合青年団と改称 ○警防団を解散し、訓子府消防団設置 ○消防後援会発足 ○日出乗降場開業 ○訓子府商業協同組合設立 ○訓子府産業株式会社創立
昭和 23 年 1948 年	<ul style="list-style-type: none"> ○訓子府青年学校閉鎖 ○北見高等学校訓子府分校開校 ○訓子府中学校舎 1・2 期建設工事完成 ○村連合婦人会結成 ○村農業協同組合設立（農業会解消） ○村農業共済組合設立 ○村開拓農業協同組合設立 ○村農業改良委員会設立 ○水害予防組合設立 ○森林愛護組合設立 ○北見バス北見置戸間の営業開始
昭和 24 年 1949 年	<ul style="list-style-type: none"> ○美園分校、美園小学校に昇格 ○訓子府中学校美園分校開校

	<ul style="list-style-type: none"> ○村体育連盟結成 ○北見警察署管内防犯協会訓子府支部設立 ○商業協同組合解散し商交會設立 ○常呂川切替護岸工事に、大阪刑務所の囚人 90 人と職員 18 人が日出に駐留 ○農業改良普及員配置
<p>昭和 25 年 1950 年</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○村社会教育委員設置 ○開村 30 年記念式典挙行 ○第 1 回村民運動会開催 ○有線放送業務を開始 ○日の出乗降場は駅に昇格 ○西訓、南訓火葬場新築 ○身体障害者福祉会訓子府分会設立 ○北見信用組合訓子府支店開業 ○訓子府石灰株式会社大谷山元工場創業 ○隆光寺本堂建立
<p>昭和 26 年 1951 年</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○南訓、北訓小学校に中学校を併置 ○村長、村議会議員選挙、谷本泰三郎村長再選 ○農業委員会設置（農地委員会改組） ○公平委員会、固定資産評価審査委員会設置 ○社会福祉協議会設置 ○訓子府土地改良区設立（土功組合を改組） ○役場庁舎、公民館新築 ○ごみ焼却炉設置 ○訓子府火葬場改築 ○町制施行（11 月 1 日）、町章制定 ○訓子府音頭、小唄をつくる

<p>昭和 27 年 1 9 5 2 年</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○教育委員選挙、教育委員会発足 ○監査委員設置 ○北斗高校訓子府分校は訓子府高等学校と改称 ○町文化連盟結成 ○日の出簡易郵便局設置 ○北見地区保護司訓子府分区設立 ○日の出巡査駐在所設置 ○水防管理団体の指定受ける ○北見通運訓子府支店開業 ○農協日出支所開業
<p>昭和 28 年 1 9 5 3 年</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○市街の各区に町名を付ける ○中ノ沢小学校に中学校併置 ○緑丘分校は緑丘小学校に昇格 ○常照寺に季節保育所開設 ○訓子府変電所設置 ○相内一陸別間道路は道道に昇格 ○中ノ沢線バス開通
<p>昭和 29 年 1 9 5 4 年</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○訓中美園分校独立し、美園小中学校に ○森永乳業本町に進出 ○訓子府石灰 K K 日出工場操業 ○訓子府川水利組合は訓子府土地改良区に加入 ○訓子府貨物輸送株式会社開業 ○道立農試北見支場の本町移転決定 ○訓子府市街簡易上水道完成
<p>昭和 30 年 1 9 5 5 年</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○仲町大火訓子府座など焼失 ○私設日出消防隊発足 ○町長、町議会議員選挙、谷本泰三郎町長 3 選 ○レールバス走る、西富乗降場設置

	<ul style="list-style-type: none"> ○森永乳業訓子府工場創業 ○公営住宅 10 戸建設（幸町に団地造成）
昭和 31 年 1956 年	<ul style="list-style-type: none"> ○教育委員任命制となる ○訓子府消防団日出班編成 ○常呂川北岸（左岸）築堤工事完了 ○西訓子府乗降場設置
昭和 32 年 1957 年	<ul style="list-style-type: none"> ○居武士橋完成し日出橋と改称 ○穂波乗降場設置 ○農協デパート完成開業 ○開基 60 周年記念式典挙行
昭和 33 年 1958 年	<ul style="list-style-type: none"> ○部落組織を農事実践会に、市街組織を町内会に改める ○国民健康保険事業を再開 ○青年研修所を建設 ○ディーゼルカー走る ○公営住宅 16 戸建設、末広団地造成 ○連合青年団を青年団体協議会（訓青協）と改称 ○連合婦人会を婦人団体協議会（訓婦協）と改称 ○農業改良相談所、農業改良普及所と改称
昭和 34 年 1959 年	<ul style="list-style-type: none"> ○町長、町議会議員選挙、谷本泰三郎町長 4 選 ○自治会を町内会連絡協議会と改め、消防後援会、防犯協会を独立組織とする ○母子健康センター開設 ○市街地区画整理事業を開始 ○穂波、西富、西訓子府乗降場は駅員無配置駅に

	○道立農試北見支場庁舎完成、移転完了
昭和 35 年 1960年	○訓子府町商工会創立 ○消防常備員の配置 ○訓子府常設季節保育所新築開所 ○訓子府中央火葬場新築 ○訓子府土地改良区常呂川頭首工完成
昭和 36 年 1961年	○訓子府高等学校独立校舎落成 ○老人クラブの設立始まる ○日出季節保育所新築開所 ○東町大火 ○訓子府ハイヤー創業 ○訓子府町商工青年会結成 ○道立種畜場訓子府支場閉鎖 ○北見林務署訓子府採種園開設
昭和 37 年 1962年	○公民館新築 ○交通安全の町宣言、交通安全推進委員会設置 ○北見バス農試線、川南線を開通 ○チミケップ林道完成
昭和 38 年 1963年	○町長、町議会議員選挙、谷本泰三郎町長5選 ○訓子府高等学校昼間季節制普通科設置 ○北見市ほか3町伝染病隔離病舎組合設立 ○農協種鶏センター建設 ○タマネギブーム起こる
昭和 39 年 1964年	○中ノ沢中学校、訓子府中学校と統合 ○訓子府町青少年問題協議会設置 ○置戸営林署訓子府苗畑事業所を開設 ○訓子府町林産協同組合設立 ○訓子府町玉葱振興会発足

開村 30 年
記念祝賀会
(昭和 25 年)



町制施行時の
町議会議員と
議事堂
(昭和 26 年)

新憲法、地方自治法施行後②（昭和40年～昭和63年）

和 暦 西 暦	訓子府町の出来事
昭和40年 1965年	<ul style="list-style-type: none"> ○北見農試、品質、収量に優れた春小麦「ハルヒカリ」と水稻「ハヤモチ」を開発 ○北訓中学校を訓子府中学校に統合、スクールバス通学始まる ○町農協ビル3階建て完成 ○訓子府中学校新校舎完成 ○町子どもを守る会連絡協議会結成 ○オロムシ道路とチミケツブ林道、道道に昇格 ○訓子府川治水築堤工事完成 ○ホクレン訓子府種畜改良牧場完成 ○高園簡易郵便局設置
昭和41年 1966年	<ul style="list-style-type: none"> ○第1回雪まつり、訓小グラウンドで開催 ○町団地養鶏組合設立 ○南訓中学校、訓子府中学校と統合 ○北訓、中ノ沢へき地保育所開設、日出季節保育所を日出へき地保育所と改称 ○文化連盟と体育連盟を訓子府町文化体育団体連絡協議会に改組 ○開基70年記念で、ばんえい競馬行う ○訓子府中学校統合校舎全面完成、旧校舎解体 ○開基70年・町制施行15年・公設消防組織50年・訓中創立20年・同校校舎落成・土地改良区道営かんがい排水事業竣工の合同式典 ○猛吹雪の夜、福野で住宅全焼、一家母子5人焼死

	<ul style="list-style-type: none"> ○訓子府高等学校季節制農業科開設 ○訓子府ライオンズクラブ結成
<p>昭和 42 年 1967 年</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○旧訓子府中学校体育館、町民体育館として再スタート ○常呂川が一級河川に昇格 ○町長選挙、渡邊義夫が初当選・町議会議員選挙に 30 人が立候補、新人 7 人を含む 22 人が当選 ○谷本泰三郎、名誉町民第 1 号となる ○第 1 回訓子府町民体育祭を実施 ○ホクレン訓子府クーラーステーション業務を開始 ○日出市街地に簡易水道が完成、通水開始 ○訓子府酪農協議会設立、酪農振興会は翌年 3 月解散
<p>昭和 43 年 1968 年</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○町乳牛経済検定組合設立 ○町民水泳プール栄町に完成 ○栄町区画整理事業完成 ○高さ 20m の望楼をもつ消防庁舎が完成 ○町農協の農業関係施設（育すうセンター・農業倉庫施設・農業機械サービスセンター・くみあい飼料日出中継基地）の新增設落成記念式挙行 ○長寿会館（老人福社会館）完成し落成式挙行
<p>昭和 44 年 1969 年</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○十勝で発生した牛の流感、本町実郷に飛び火 ○電子計算システム導入 ○訓子府高校、生活科新設、農業専門学校となる

	<ul style="list-style-type: none"> ○共同利用模範牧場開設 ○末広保育所完成、開所式 ○農業委員会委員選挙、無投票当選 ○穂波団地公営住宅 17 戸建設 ○町の霊きゅう事業開始
<p>昭和 45 年 1970年</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○交通安全指導員 10 人を任命 ○幸町が「東幸町」と「西幸町」に分割 ○町道西 25 号線道路、道道に昇格 ○美園農事実践会季節保育所を設置 ○訓子府町民憲章制定 ○訓子府町養豚組合設立 ○北見市公設地方卸売市場にメロン初出荷 ○訓子府神社境内に弓道場完成 ○西富踏切を改良し陸橋部分 73m が開通 ○黒みかげ石に町民憲章を刻んだ碑、旧役場（現歴史館）前庭に建立（平成 13 年に現庁舎前に移設） ○町開町 50 周年と町制施行 20 年・共同利用模範牧場完成を祝う合同記念式典 ○柳橋医院跡に母子健康センター新築 ○訓子府農民協議会を訓子府町農民連盟と改称
<p>昭和 46 年 1971年</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○町開拓農協清算事務を終了、解散式 ○町長選挙行われ、渡邊義夫が再選・町議会議員選挙も執行 ○訓子府高校寄宿舎「新星寮」開所式 ○柏丘営農用水施設完成、120 戸に送水 ○広域農道穂波橋が完成 ○定例町議会、議員定数減少条例を可決、2 人減の 20 人となり、昭和 50 年選挙から適用

	<ul style="list-style-type: none"> ○訓子府駅前大通り交差点に交通信号機設置 ○訓子府町薬草耕作組合設立
<p>昭和 47 年 1972 年</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○札幌冬季オリンピック大会の聖火、置戸町を通過、本町からも 13 人のランナーが参加 ○訓子府小学校に統合のため南訓小学校、北訓小学校が閉校 ○ごみ収集処理手数料廃止、無料化に ○北見市、訓子府町、端野町、置戸町の北見地区消防組合発足 ○町内有志の出資によるボウリング場「フレッシュボウル」が大町にオープン ○第 8 回訓子府町農業委員会委員選挙、18 年ぶりに投票 ○町民運動会 4 年ぶりに復活 ○吹雪と着雪で美園地区を除き全町停電 ○昭和 46 年 10 月から 2 か年にわたり大谷の増田遺跡の発掘調査を実施、約 7,000 点の石器が出土
<p>昭和 48 年 1973 年</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○訓子府小学校へ統合のため緑丘小学校、中ノ沢小学校が閉校 ○美園中学校統合のため廃止。中学校は訓子府中学校 1 校となる ○南岸道路、道道に認定。境野実郷上常呂線（現道道置戸訓子府北見線）に ○臨時町議会訓子府町総合計画基本構想を議決 ○町内商店で 1 円玉不足となり、町民に貯金箱からの引き出しを呼び掛け ○道知事、町土地開発公社設立を認可

	<ul style="list-style-type: none"> ○豊坂地区営農用水事業竣工祝賀会開く ○訓子府駅構内人道跨線橋新設、渡橋式 ○実郷橋完成 ○叶橋に歩道橋設置 ○稲作転換促進事業作目として18戸の耕作農家がメロン振興会を結成 ○「くんねっぷメロン」の人気高まり、本町の特産品に
昭和49年 1974年	<ul style="list-style-type: none"> ○北見バス、農試線を廃止、これに替わり町営バスが同線の4往復運行を開始 ○中央公園が完成 ○町のボランティア実践団体として「婦人ボランティアよつ葉会」結成 ○シルコマベツ川にかかる緑橋、永久橋として架け替え完了、渡橋式 ○大谷の新水源地から簡易水道の送水始まる
昭和50年 1975年	<ul style="list-style-type: none"> ○美園小学校統合のため閉校 ○青年研修所廃止、建物は農協に無償譲渡 ○町長選挙、渡邊義夫無競争3選・町議会議員選挙執行。今回から議員定数20に ○町バレーボール協会発足 ○町農業委員会選挙、無競争で当選 ○NHK 訓子府中継局、穂波高台に設置開局 ○小学生を対象としたKL野球少年団誕生 ○23日から24日まで台風6号が137mmの降雨をもたらす。全町被害、床下浸水90棟のほか、農地・農作物の流出、叶橋破損など大災害に ○日出水道が完成、竣工式を行う

	<ul style="list-style-type: none"> ○穂波水道完成 ○第1回町民バレーボール大会開催 ○道立移管に伴う訓子府高校施設整備（体育館新築、陸上競技場、テニスコート、弓道場、校舎改修）を実施 ○広域農協連穂波にタマネギ倉庫を建設 ○交通事故異常多発（町民が起こした事故件数18件、死者5人、負傷者24人）
昭和51年 1976年	<ul style="list-style-type: none"> ○訓子府高校道立に移管 ○第1回町民卓球大会開催 ○町霜害予防対策推進本部を設置 ○5年ぶりに町冷害対策本部を設置 ○町内酪農家110戸がバルククーラーを導入、タンクローリーで庭先出荷体制整い、本町の生乳処理事業廃止となる
昭和52年 1977年	<ul style="list-style-type: none"> ○訓子府高校定時制課程の閉課式 ○酪農協議会と酪農革新会は発展的に解散し、町酪農振興会に統一 ○訓子府新報創刊号発行 ○開基80周年記念事業で町花「エゾムラサキツツジ」と町木「オンコ」制定 ○第1回老人レクリエーション大会開催 ○町土地開発公社、300㎡前後の宅地24区画の分譲を開始 ○訓子府高校の旧新星寮を改造して老人福祉寮「福寿荘」を開設 ○開基80周年記念式典 ○栄町に児童生活館を建設、開所式行う

	<ul style="list-style-type: none"> ○元町長名誉町民谷本泰三郎死去、12月21日町葬 ○第1回畜産まつり開催
<p>昭和53年 1978年</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○訓子府女声合唱団が発足 ○訓子府幼稚園の設置認可、開園式と入園式 ○第1回老人芸能大会開催 ○訓子府・端野・置戸・佐呂間・留辺蘂5町電子計算センター協議会発足、本町にセンターを設置 ○町農業委員会委員選挙6年ぶりに執行 ○清住の道道で土木作業現場帰りの従業員8人乗りの輸送車が路上駐車トラックに追突、3人死亡、5人重傷 ○西訓子府乗降場踏切でダンプカーが満員の列車に衝突、76人が重軽傷 ○西25号線の訓子府大橋が完成、渡橋式 ○「札幌くんねっぶ会」発足 ○町乳牛検定組合（新乳牛検定事業）設立 ○スポーツセンター完成 ○新総合計画を策定 ○青少年研修館建設
<p>昭和54年 1979年</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○第1回町長杯バドミントン大会開催 ○町長選挙、佐藤忠義初当選、同日町議会議員選挙 ○花嫁花婿相談所を開設、相談員を委嘱 ○町馬産振興会設立 ○町肉牛生産組合設立 ○ホクレンくみあい飼料(株)北見工場操業開始

	<ul style="list-style-type: none"> ○居武士小学校新築校舎で授業を開始 ○ホクレン訓子府クーラーステーション閉鎖
<p>昭和 55 年 1980年</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○「第1回冬の祭典」開催 ○町公社営畜産基地建設推進協議会発足 ○国鉄池北線地方交通対策訓子府協議会を設置し、貨物駅廃止反対と併せ池北線確保の運動を続けることに ○「夏まつり」を「ふるさとまつり」と改称し実施 ○札幌くんねっぶ会、初のふるさと訪問 ○日出4・5遺跡の発掘調査実施。旧石器時代の3,800点余が出土 ○町農協事務所、店舗、家畜診療所落成 ○訓子府警察官駐在所栄町に新築移転 ○日出簡易郵便局、再開認可 ○学校給食センター完成、2階は訓小の食堂 ○町商工会が第1回商工大運動会を開催
<p>昭和 56 年 1981年</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○東京くんねっぶ会結成 ○町産業観光振興協議会が発足 ○ホクレンチーズ研究所、駒里のホクレン畜産実験研修牧場敷地内に開所 ○訓子府スイミングクラブ発足 ○公社営畜産基地建設事業起工式 ○9月1日、10日と交通事故死があり、交通安全住民大会開く ○臨時町議会で渡邊義夫元町長を名誉町民に決定、11月1日顕彰 ○町制施行30周年記念映画完成

	<ul style="list-style-type: none"> ○開基 85 年・町制施行 30 周年記念式典挙行 ○スキースポーツ少年団を結成 ○美園線にスクールバス運行
<p>昭和 57 年 1982 年</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○町農協の小麦共同乾燥・調整・保管施設完成 ○畜産総合施設が実郷に完成 ○池北線利用の早朝マラソングループ「訓子府走ろう会」発足 ○今年、町民 5 人（町内で 3 人、町外で 2 人）交通事故死、11 月 10 日に交通事故ストップ緊急住民大会を開催 ○新公民館落成式、町民 300 人出演の構成劇「わが地・わが町訓子府」を上演 ○旧公民館が役場別館となり講堂は郷土資料展示室となる ○福野、弥生地区飲雑用水施設完成 ○川北幹線水路安全防護柵設置事業 5 か年で完了 ○低所得世帯の燃料費の一部を町が援助する福祉灯油の支給を行う
<p>昭和 58 年 1983 年</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○第 1 回訓子府町アイデア物産展を開催 ○第 1 回地域対抗ピンポン大会開催 ○国鉄池北線存続訓子府町民総決起大会を列車内で開催 ○開盛の酪農家で牛舎全焼、乳牛 23 頭焼死 ○家畜改良事業団北見事業所とホクレン畜産実験研修牧場の研究チーム、凍結受精卵の移植に成功、第 1 号子牛が誕生 ○町長選挙行われ、佐藤忠義無投票再選・町議会議員選挙も執行

	<ul style="list-style-type: none"> ○訓子府町初のエクセレント牛が福野の安岡牧場で誕生 ○北海道ホルスタイン共進会（早来町で開催）に本町から出陳した7頭すべて上位入賞、訓子府酪農史上初の快挙 ○訓子府季節保育所（兼東地区地域集会所）落成式 ○常呂川河川敷地利用の末広運動広場多目的施設完成
昭和 59 年 1984年	<ul style="list-style-type: none"> ○第5回冬の祭典を「さむさむまつり」と改称 ○簡易水道事業が地方公営企業法の適用を受けて、水道事業としての経営に ○国産材加工施設（訓子府木材加工協同組合連合会）操業開始 ○北見地区暴力追放推進協議会訓子府支部設立総会開催 ○新図書館オープン
昭和 60 年 1985年	<ul style="list-style-type: none"> ○半田歯科医院大町に開業 ○母子健康センター助産部門を3月限りで廃止し、「健康センター」と改称 ○開業医不在で1月から札医大より医師派遣を受けてきたが、4月から水元医院長復帰 ○第1回ゲートボール大会開催 ○本町で初の交通事故死ゼロ1000日達成 ○元町長名誉町民渡邊義夫死去、8月2日町葬 ○町の保存樹木8種20樹木を指定 ○湯本歯科医院東町に開業 ○心身障がい児の親たちによる「たんぽぽ親の会」結成

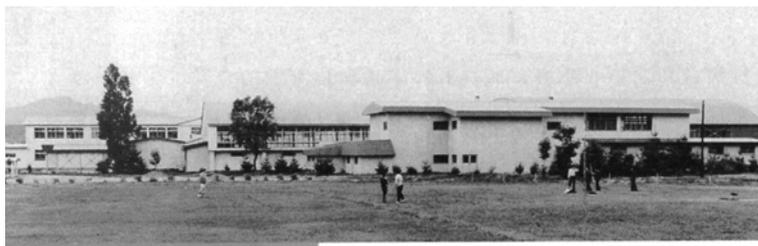
	<ul style="list-style-type: none"> ○日出保育所（兼地域集会所）、消防団日出分団車庫完成 ○国鉄池北線利用拡大運動展開 ○レクリエーション公園造成事業に着手（陸上自衛隊による整地作業始まる）
昭和 61 年 1986年	<ul style="list-style-type: none"> ○町民憲章推進協議会の呼び掛けで葬儀の供花自粛（供花ポスター）スタート ○開拓記念碑をオロムシ川河川敷から居武士小学校東側に移設 ○町議会議員の定数を減少する条例で次回選挙から定員 16 人となる ○町図書館、昭和 60 年度貸出率日本一の記録を達成（昭和 62 年度から 7 年連続日本一を記録） ○札幌交響楽団、初の訓子府公演町民合唱団 125 人も共演 ○新日の出橋渡橋式 ○訓子府町農村環境改善センター落成 ○開基 90 年記念式典 ○北訓へき地保育所（兼地域集会所）完成 ○訓子府町商工会の若手経営者と従業員、初めて青年部祭りを開催 ○開基 90 年記念事業多数実施
昭和 62 年 1987年	<ul style="list-style-type: none"> ○町営バス事業を廃止、福祉バスを運行 ○町長選挙が行われ、佐藤忠義 3 選・町議会議員選挙も執行 ○一般廃棄物処理場使用開始 ○市街地区の「字名・地番」を改正 ○町の保存樹木 5 種 11 樹木を指定

	<ul style="list-style-type: none"> ○大町に西地区集会所（勤労者福祉会館）完成 ○日本赤十字訓子府分会奉仕団結成
<p>昭和 63 年 1988 年</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○東町に訓子府クリニック開院 ○住友建機、旧美園小学校跡地で寒地の重機作動試験を実施 ○社会福祉法人訓子府町社会福祉協議会設立 ○町内の温泉脈調査のため道立地下資源調査所が電気探査を行う ○訓子府高校と女満別高校 PTA、姉妹校提携調印 ○第 3 回定例町議会、防犯宣言を決議 ○協成と美園地区の字名・地番改正 ○町社会福祉協議会内にボランティアセンター設置 ○茨城県関城町との「教育姉妹町」調印式（関城町役場） ○カクレ沢線道路開通 ○北海道まちづくり百選に本町の「中央公園とその周辺」が選定 ○末広保育所（兼地域集会所）完成 ○レクリエーション公園に町営スキー場完成 ○常設保育所で障がい児保育を開始 ○共同利用模範牧場、冬期間の運営休止

昭和 41 年に全面完成した訓中統合校舎



昭和 51 年 道立移管時の訓高全景



昭和 57 年、現公民館
落成を記念した町民構
成劇「わが地・わが町
訓子府」



平成時代① (昭和 64 年・平成元年～平成 8 年=開基 100 年)	
和 暦 西 暦	訓子府町の出来事
昭和 64 年 1989 年	○常盤と美園農事実践会が合併、新たに常盤農事実践会（現常盤実践会）として発足
平成元年 (平成 1 年) 1989 年	○常呂川水系ホロイッチャン川、一級河川に昇格 ○日出地域発展振興協議会設立 ○「くねっぶ静寿園」を運営するため社会福祉法人「訓子府福祉会」設立 ○池北線対策会議を発展的に解消、ふるさと銀河線振興会議が発足 ○ふるさと銀河線運行開始 ○訓子府駅前広場でくねっぶメロンまつり開催 ○訓子府農業祭、畜産総合施設で開催 ○レクリエーション公園の野球場完成 ○温泉ボーリング、9月3日に地下 1,200 m で湯脈を掘り当てる、源泉を「訓子府源泉」と命名 ○ふるさと銀河線友の会組織が発足 ○管内初の屋内ゲートボール場オープン
平成 2 年 1990 年	○くねっぶ静寿園完成 ○農業後継者結婚対策推進協議会が発足 ○レクリエーション公園にソフトボール場完成 ○訓子府ふるさとギャラリーが改善センター内にオープン ○農業委員会選挙、無投票で決定

	<ul style="list-style-type: none"> ○多目的スペースもつ訓子府中学校新校舎完成 ○ふるさと探訪事業で東京くんねっぶ会児童5人が来町 ○町パークゴルフ協会設立 ○国営常盤地区総合農地開発事業の起工式 ○訓子府南地区道営畑総事業起工式 ○町道西31号線の常呂川に架かる清住橋渡橋式 ○北見地区消防組合消防署訓子府支署、救急業務開始
<p>平成3年 1991年</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○温泉保養センターオープン ○旧水元医院で、くんねっぶ治恵クリニック開院 ○町酪農ヘルパー利用組合設立総会開催 ○町長選、深見定雄初当選、町議選は無投票 ○初めてのふるさと銀河線まつり開催 ○訓子府神社秋祭りで露天商排除、素人縁日開催 ○「ソーラーチャレンジ in 北海道 91」公道を使って初めて開催 ○(有)訓子府新報社設立 ○北電訓子府電業所閉鎖 ○住民票が電算機で処理
<p>平成4年 1992年</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○農業委員会憲章定める ○町特産品の地酒の名称「妻恋橋」と決定 ○大正14年創業の公衆浴場「松の湯」のれんをおろす ○若葉町内会誕生（若富町内会鉄北地区） ○農業集落排水センター通水式挙行

	<ul style="list-style-type: none"> ○訓子府町ほか4町電子計算センター業務を各町で行う ○全国的にタマネギ豊作、本町では一律5%の廃耕を決める ○全道初の福祉バンク事業スタート ○ホクレン訓子府チーズ研究所、特製アイスクリームを開発 ○町のごみ焼却施設完成、火入れ式
<p>平成5年 1993年</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○訓子府中学校校舎新築落成 ○本町初の英語指導助手、アメリカ人女性ジュリー・ヨン・チョイ来町 ○町商店街協同組合創立総会開催 ○町内の史跡・中ノ沢小中学校、南訓小中学校跡を保存する標示板設置 ○日出地区ふれあいセンターオープン ○バレイショ集出荷施設落成
<p>平成6年 1994年</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○道営畑総、平成5年までの21年間総事業費145億円（うち本町分75億円）で完了 ○「訓子府町農業者年金協議会」設立総会 ○元町に初の若年単身勤労者住宅「メゾン銀河」完成 ○訓子府高校校舎完成 ○パークゴルフ場に夜間照明灯設置 ○町営プール27年の役目を終える ○叶橋の渡り納め式 ○美園小中学校跡を保存する史跡標示板設置
<p>平成7年 1995年</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○訓子府駅北側に農村公園完成、愛称「銀河公園」と決定

	<ul style="list-style-type: none"> ○訓子府町農業情報システム開通式 ○任期満了による町長選挙、無投票で深見定雄が再選・町議会議員選挙執行 ○温水プール「KAPPA」オープン ○平和記念の碑の除幕式挙行 ○穂波に「玉ねぎ撰果施設」完成 ○第1回 KAPPA マスターズ水泳大会開催 ○消防団「女性消防団員」の入団式 ○レクリエーション公園展望台完成
<p>平成8年 1996年</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○オホーツクまちなみ整備コンペティション ○公共施設の暴力団排除に関する条例制定 ○町に「街並み推進室」を新設 ○訓子府町高齢者勤労センター業務開始 ○町道末広線にメロン街灯12基を設置 ○訓子府幼稚園に幼年消防クラブ誕生 ○町教委、北光社移民団が乗船した「高洋丸」の凶面を発見 ○町内の交通死亡事故ゼロ1000日を達成 ○訓子府町開基100年記念式典 ○東津野村産出の原石で開基100年記念碑建立、除幕 ○叶橋完成、渡橋式 ○北見バス末広へ乗り入れ ○開基100年記念事業多彩に展開



平成元年6月4日、
北海道ちほく高原鉄
道のふるさと銀河線
が運行開始（訓子府
駅でのセレモニー）

平成8年、町開基
100年記念事業の
一環、叶橋の渡橋
式



平成時代②（平成9年～平成30年）	
町開基 101 年（平成9年）以降	
和 暦 西 暦	訓子府町の出来事
平成9年 1997年	<ul style="list-style-type: none"> ○町行政改革大綱策定 ○末広地区農業集落排水供用開始 ○レクリエーション公園全面完成 ○ごみ簡易焼却施設からダイオキシン発生 ○あけぼの団地分譲（末広町） ○ソーラーチャレンジ in 北海道 '97 にソーラーカー「大地くん」が出場、準優勝 ○ごみの分別収集スタート ○新葬斎場「清陵苑」オープン ○商店街近代化事業スタート
平成10年 1998年	<ul style="list-style-type: none"> ○中ノ沢保育園閉園式 ○タマネギ貯蔵施設完成 ○日ノ出公園（新駅）オープン ○第1回高知県東津野村訪問交流事業 ○ケアハウス「ほなみ」オープン
平成11年 1999年	<ul style="list-style-type: none"> ○大谷浄水場完成 ○日出地区農業集落排水供用開始 ○ふるさと銀河線訓子府駅舎解体 ○農家地区個別排水処理施設整備工事開始 ○居武士小学校食堂完成 ○地域振興券交付
平成12年 2000年	<ul style="list-style-type: none"> ○あさひ野団地分譲開始（日出町） ○緑丘、増田遺跡出土遺物が町指定文化財に指定

	<ul style="list-style-type: none"> ○農業交流センター「くる・ネップ」(駅)オープン
<p>平成 13 年 2001 年</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○訓子府と置戸の森林組合合併し新生紀森林組合発足 ○ポケットパークオープン ○高知県東津野村と姉妹まち提携 ○新行政改革大綱策定 ○ふるさと銀河線に S L 銀河号運行 ○町制施行 50 周年記念式典 ○役場庁舎・総合福祉センター「うらら」落成 ○町制施行 50 周年記念事業展開
<p>平成 14 年 2002 年</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○旧役場庁舎一部取り壊し ○学校完全週 5 日制スタート ○小麦乾燥調整貯蔵施設完成 ○第 1 回オホーツク玉入れ選手権大会開催 ○株式会社エーコープみらい誕生、6 JA の A コープ店舗が協同会社に ○住民基本台帳ネットワークシステムスタート ○ふるさと銀河線に漫画家・松本零士さんのアニメーション「銀河鉄道 999」のラッピング列車運行 ○街並み整備事業全面完成式典 ○役場庁舎と「うらら」が平成 14 年度北海道福祉のまちづくりコンクール優秀賞受賞
<p>平成 15 年 2003 年</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○常呂ブロック 8 農協(訓子府・置戸・北見・上常呂・端野・相内・留辺蘂・温根湯)が合併し、きたみらい農協が発足 ○旧役場庁舎別館取り壊し

	<ul style="list-style-type: none"> ○不審火（牧草ロール火災）相次ぐ ○ソーラーチャレンジ in 北海道 2003 開催。「大地くん」準優勝で引退 ○個人情報保護条例施行 ○訓子府・置戸・留辺蘂（常呂郡西部）3 町広域行政協議会発足 ○本町がバリアフリー化推進功労者の内閣官房長官表彰を受ける ○堆肥供給センター完成
平成 16 年 2004 年	<ul style="list-style-type: none"> ○暴風雪で D 型ハウス倒壊など被害（100 年に一度の大雪と言われた） ○ふるさと銀河線存続で町民総決起集会開く ○合併広域協、留辺蘂脱退で解散 ○訓子府・置戸 2 町任意合併協議会設立 ○ごみ処理広域・有料化 ○情報公開制度スタート ○くんねっふ歴史館（旧役場庁舎）開館 ○生ごみ堆肥化処理施設完成（置戸） ○風台風 18 号で風倒木など被害 ○法定合併協議会設立 ○法定合併協議会で新町名「置戸町」本庁舎「訓子府町」が決定 ○合併に関連し「訓子府町の将来を考える会」が住民投票に向け署名活動実施 ○合併に関する町民アンケート実施 ○母子寡婦会解散、41 年の歴史に幕
平成 17 年 2005 年	<ul style="list-style-type: none"> ○町長公用車競売 165 万円で落札 ○置戸町との合併断念

	<ul style="list-style-type: none"> ○臨時議会で住民投票条例案否決 ○法定合併協議会解散 ○銀河線存続願う大集会（陸別町） ○訓子府町、置戸町の社会福祉協議会の合併協議会解散 ○高知県東津野村と葉山村が合併し津野町に ○教育姉妹町の茨城県関城町が3市町と合併し筑西市に。平成17年度いっぱい教育姉妹町終結 ○みつばちクラブ発足 ○アスベスト問題発生（訓小、居小教室） ○台風14号による大雨で道路、畑などに被害 ○アスベスト除去工事開始
平成18年 2006年	<ul style="list-style-type: none"> ○ふるさと銀河線で成人式 ○公共施設有料化 ○ふるさと銀河線さよなら列車運行 ○ふるさと銀河線廃線・代替バススタート ○初のナイター議会 ○台風10号による大雨災害 ○地域包括支援センター開設 ○訓子府神社新社殿落成 ○町議会議員定数4減の10人に （平成19年4月選挙から適用）
平成19年 2007年	<ul style="list-style-type: none"> ○中の沢橋完成、渡り初め式 ○第5次総合計画スタート ○小中学校、幼稚園2学期制スタート ○町長選、菊池一春初当選、町議会議員選挙実施

	<ul style="list-style-type: none"> ○降ひょうでタマネギなど農業被害 ○最勝寺開教 100 年記念式典 ○ジャガイモシストセンチュウ町内で確認 ○道立北見農業試験場創立 100 周年記念講演 ○ふるさと銀河線レールと枕木を撤去
平成 20 年 2008 年	<ul style="list-style-type: none"> ○119 番通報が北見消防署に一括通報 ○ふるさと応援団発足 ○ふるさと銀河線レール文鎮限定販売 ○TMR（K's フィードサービス）落成 ○バイオ福祉再生油事業スタート ○旧関城町（筑西市）に「関城町・北海道訓子府町交流記念の碑」建立、除幕 ○役場職員給料 4 %削減（4 月から 3 年間）
平成 21 年 2009 年	<ul style="list-style-type: none"> ○温泉保養センター利用者 100 万人突破 ○北見地区衛生施設組合解散 ○北海道大学と連携協定調印、訓子府サテライト開設 ○旧北訓小体育館解体 ○旧母子健康センター解体 ○訓子府デジタルテレビ（地デジ）中継局開局 ○訓小校舎耐震補強工事
平成 22 年 2010 年	<ul style="list-style-type: none"> ○町酪農振興会乳牛導入 100 周年記念式 ○ファーマーズマーケット夢ミールオープン ○子育て支援センター開所 ○高知県津野町へ町民交流団派遣 ○弥生地区開拓 100 年記念式典 ○東京訓子府倶楽部立ち上げ ○訓小、居小体育館耐震補強工事実施

<p>平成 23 年 2011 年</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○高齢者ハイヤー利用サービス事業開始 ○町長選、菊池一春無投票再選、町議選実施 ○日出神社御神木移設 ○姉妹町・津野町との職員人事交流合意書に調印（津野町） ○議員報酬約 2 %削減（7 月 1 日～平成 27 年 4 月 30 日まで） ○台風 12 号による大雨で農作物に被害 ○交通死亡事故発生。事故死ゼロが 1,806 日でストップ ○柏丘地区入植 100 年記念式典 ○西富の道道北見置戸線跨線橋撤去工事完了 ○特別職、職員給与 2 %削減 ○町制施行 60 周年 ○高知県津野町と姉妹町締結 10 周年
<p>平成 24 年 2012 年</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○訓子府小学校スクールバンド全国リコーダーコンテスト花村賞受賞（平成 23 年から令和 2 年まで 10 年連続全国大会切符獲得） ○路線バス高齢者利用支援事業開始 ○訓子府郵便局開局 100 年 ○NPO 法人福祉サポートきらきら本舗がシソ飲料「紫式部」を復活販売 ○高園実践会開拓 100 周年記念式典
<p>平成 25 年 2013 年</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○北見警察署と暴力団排除に関する合意書調印 ○児童生活館閉館、42 年の歴史に幕 ○児童センター「ゆめゆめ館」オープン ○初の議会報告会 ○姉妹町・高知県津野町と災害応援協定締結

<p>平成 26 年 2014 年</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○訓子府小学校開校 100 周年記念式典 ○大雪で公民館に自主避難所開設 ○町道幸町線延長工事終了し開通
<p>平成 27 年 2015 年</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○訓子府消防創設 100 年記念式典 ○町開基 120 年記念テーマ「みんなで作った 120 年 僕らがつなぐくんねっぷ」に決まる ○町長選、菊池一春無投票 3 選、町議選、10 人無投票当選 ○銀河公園全面改修、周辺整備工事完成 ○図書貸し出し延べ 300 万冊突破 ○「シティマート」、ホームック「ニコット」オープン ○北海道横断自動車道十勝オホーツク道北見西インターチェンジ—訓子府インターチェンジ間開通 ○ふるさと納税返礼品スタート
<p>平成 28 年 2016 年</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○訓子府幼稚園閉園 ○訓子府町認定こども園「わくわく園」開園式 ○開基 120 年記念町民運動会 24 年ぶり開催 ○台風 7 号、11 号、9 号北海道上陸で訓子府町にも被害。台風 7 号の強風で訓小前の保存樹木ハルニレ倒れる ○開基 120 年記念式典 ○居武士小学校開校 100 周年記念式典 ○北海道日本ハムファイターズ応援大使に矢野選手と谷口選手 ○開基 120 年記念事業多彩に。イメージキャラクターに「たまねっぷ」「めろねっぷ」決定

<p>平成 29 年 2017 年</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○新長寿会館オープン ○第 6 次総合計画スタート ○障がい者福祉施設「もりの風」オープン ○緑丘開拓 105 年記念誌発刊を祝うつどい ○合同会社ほっくんフィールドセンター開業 ○合葬墓完成 ○スポーツセンター解体開始 ○青少年研修館閉館式。改築のため解体 ○北海道横断自動車道十勝オホーツク道訓子府インターチェンジ—小利別インターチェンジ間開通 ○町議会、初の議会改革シンポジウム開催
<p>平成 30 年 2018 年</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○「くんねっぷメロン」名称とロゴマーク商標登録 ○新スポーツセンター着工 ○仲町町内会戸数減少し栄町町内会と統合 ○第 23 回小さくても輝く自治体フォーラム in 訓子府開催 ○北海道胆振東部地震の影響で訓子府町でも全世帯停電（最大 43 時間 16 分） ○新青少年研修館完成



ソーラーチャレンジ in 北海道で快走、準優勝した「大地くん」
(平成 15 年)



開基 120 年記念で 24 年ぶりに復活した町民運動会
(平成 28 年)

平成～令和時代（平成 31 年・令和元年～）

和 曆 西 曆	訓子府町の出来事
平成 31 年 2019 年 1 月～4 月	<ul style="list-style-type: none"> ○まちづくり参加条例、まちづくり推進会議条例施行 ○新スポーツセンター完成、落成式およびオープンイベント実施 ○町長選、菊池一春無投票 4 選、町議選実施 ○北海道クノール食品(株)、味の素食品北海道(株)に社名変更
令和元年 (令和 1 年) 2019 年 5 月 1 日以降	<ul style="list-style-type: none"> ○認知症の徘徊対策として CPS（位置情報計測システム）端末機購入の助成開始 ○温水プール「KAPPA」利用者 70 万人達成 ○訓子府町など 1 市 4 町が北見地域定住自立圏形成協定を締結 ○元町長佐藤忠義死去 ○スノーマーチ焼酎「訓粋」販売終了
令和 2 年 2020 年	<ul style="list-style-type: none"> ○町新型インフルエンザ等対策本部設置 ○町新型コロナウイルス対策本部設置 ○消防庁舎移転改築へ設計プロポーザル実施 ○町民による交通事故死ゼロ 3500 日達成 ○町内 3 か所に防犯カメラ設置 ○開基 100 年（平成 8 年）に埋設のタイムカプセル開封 ○開町 100 周年・町制施行 70 年記念式典 ○A コープくんねっぷ店閉店 ○町内での交通事故死ゼロ 3000 日達成

